

★安心安全な学校方向性ニュース(保護者のみなさまへ)

●コロナ関連で、授業時数の確保や行事等の見直しを行っています。例年、2年生が2日間にわたって行ってきました職場体験ですが、今年度は以下の理由により中止させていただくこととします。

- ・コロナ感染拡大により、各事業所が受け入れてもらえないことが予想されるため
- ・体験する生徒や受け入れ事業所の方の安全確保のため
- ・授業時数確保のため

ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

●熱中症に気をつけてください！5月も終盤に入り、気温がどんどん上がってきています。マスクも着用するので余計に暑苦しさを感じます。こまめな水分・塩分補給を心がけてください。毎日最低でも1リットルは水分を取る必要があります。また、子どもたちが規則正しい生活を送れるようにしてください。睡眠不足で疲れが残っていると熱中症を誘発しやすくなります。登下校も含め自己管理をしっかり行うようご指導お願いします。

●大規模な災害にご注意ください。インド洋で猛烈なサイクロンが発生しています。太平洋でも台風がこれから多数発生しはじめます。梅雨前線ともあわさって、昨年も全国各地に豪雨災害を引き起こしました。また、全国での地震発生件数も増えているのが気になります。市の防災マップや学校の防災マニュアルなどをもう一度ご確認ください。

★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

●校長ミッション1
「本を読もう！」

読書冊数ランキング

全校生徒 155 名での調査(5月25日現在で)

第1位・・・19冊 第2位・・・12冊 第3位・・・10冊 第4位・・・8冊 第5位・・・6冊

恥ずかしながら、校長先生がこの春に読んだ本の数は、合計3冊(みなさんに負けています)。

- ・シドニー・シェルダン「ゲームの達人」・・・テレビゲームの攻略本ではないですよ。南アフリカのダイヤモンド鉱山に関するサスペンス的架空の自伝(?)です。アメリカの超有名人気作家の物語で、長編ですが面白くて一気に読み進められました。
- ・「その時歴史が動いた」女たちの決断編・・・山内千代・和宮・樋口一葉・津田梅子他の伝記です。漫画ですみません。歴史の分岐点では、ここぞというときこれらの人物の動きが重要な意味をもたらしてきました。彼女たちの発想などは今もすごく参考となることが多いです。
- ・「海賊と呼ばれた男」・・・出光石油の創業者を描いたと言われる小説です。敗戦直後の日本で商社を起こし、石油取引を行うために世界を飛び回った人物で、独特な経営理念・経営スタイルを掲げて日本の戦後の高度経済成長に大きな貢献しました。これまた読み応え十分です。

●校長ミッション第3弾

「新型コロナウイルス感染拡大防止に関して、PCR検査をもっと増やすべきか？」

Aさん

自分の意見

PCR検査は今のままでいいと思う。

理由

検査技師さんの人数を考えて、国は精いっぱい検査をしている。PCR検査も一度したら安心ではない。いつかかっているかも不明である。潜伏期間も考えれば、今日陰性になっても、明日は陽性かもしれない。症状がある人にはPCR検査を進んで行い、早い治療ができるようにしてほしいです。

B君

もっと増やすべきだと思う。

メリット

自分も相手も安心できる。感染状況がわかる。

デメリット

コストがかかる。

今のままでいいと思う。

メリット

コストがたいして増えない。

デメリット

安心できない。感染状況がわからない。

●校長ミッション4

「もし、あなたがスーパーの店長なら、あなたの店で、どんな感染拡大防止対策をとりますか？ 思いつくままに、箇条書きで答えて下さい」

A さん

- ・かごとスーパーの台車の消毒。
- ・むやみに周囲に触れない。
- ・買い物終了時に手洗い。または、手指の消毒。
- ・帰宅時の手洗い・うがいの徹底。

B 君

- ・店の外で販売。
- ・欲しいものを紙に記入してもらい、店員が店内へ取りに行く。
- ・必要のないときは声を出さない。

●校長ミッション5

「家庭でできる感染防止対策についてあなたのアイデアを考えてみて下さい。できるだけたくさんアイデアを、箇条書きで答えて下さい」

A さん

- ・手洗い・うがいの徹底。
- ・食事前には、外に出ていなくても、手洗い・うがいしてから食べる。
- ・食事は対面で食べない。

C 君

- ・外出時はマスク 2 枚着用。
- ・TV などで取り入れる(奨励する?)
- ・手洗いは、「happy birthday」の歌を 2 回歌うまで手を洗い続けている。



★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

アブダビでの3年間で、1度だけ引っ越しをしないといけない事情が生まれました。上の息子が皮膚にアレルギー症状が出て、もしかしたらフラットのカーペットやソファにダニがいるのかもと日本からバルサンなどの薬を送ってもらい、いろいろ試したのですがうまくいきませんでした。仕方なく引っ越したのですが、そのためにインド人の労働者を雇いました。その人たちは、暑い中一生懸命我が家の荷物を運んでくれました。私は妻と相談し、日本式に「引っ越しそば」ならぬ「引っ越しピザ」を注文してその人たちに給料とは別に渡しました。しかし、彼らはそのピザに手を付けません。彼らはベジタリアン(宗教以上の戒律や自信の信念から肉を食べない人)だったのでした。世界にはいろいろな宗教を信じている人がいて、その人たちの中には食べてはいけないものがそれぞれあつたりします。国際理解が大切だといっている私ですが、最初に相手の方にピザが食べられるかどうか確認しなかったことで、失敗しました。相手の習慣をしっかりと確認して、私のように「相手に不快な思い」をさせないように気を付けましょう。

例えば握手ですが、アラブでは(ヨーロッパも同じかもしれませんが)基本は右手ですることがマナーです。また、ドイツに行ってレストランで右手を挙げてウエイтрレスの方を呼んだのですが、それも怒られました。ナチス式の敬礼を連想させるからです。それぞれの国には、それぞれの習慣や歴史、宗教があり、そのことをしっかりと尊重することが、相手を理解する

第一歩になると思います。